

1月24日
取手市議選

7月
参院選

日本共産党の躍進で 平和・くらしが一番の政治へ



街頭宣伝で訴える、左から小池・加増・せきど・遠山の各市議候補。右端は勇退する鈴木きよし市議

取手市政のこれからを決める市議選、1月24日が投票日です。

この期に、市民の声を生かし、市民本位の市政へと切りかえようではありませんか。

日本共産党は「暮らし・教育を削ってため込んだ70億円は市民のために使え」と具体的に提案、実現へがんばります。また市民要望実現の一致点で他党との共同もしっかり取り組んでいきます。

取手から国の政治を変える

日本共産党は、市議選で勝利、参院選で大きく躍進させ、安倍自公政権を過半数割れに追い込むために国民のみなさんと力を合わせ奮闘しています。



本年もよろしくおねがいします。



加増みつ子市議、遠山ちえ子市議、せきど勇市議、小池えつ子市議

「消費税増税や年金の引き下げで、暮らしにくのが大変」との声がたくさん寄せられています。「だれもが快適に暮らせる取手に」がんばります。

子どもたちや若い世代、農業はじめ地域の活性化を図ることこそ望まれているのではないのでしょうか。地域福祉の充実にしっかり取り組みます。

安心して子どもを産み育てられる環境を作るために、子育て世代へ家賃助成、団地の「空き家」の活用、水道料金の引き下げをはかります。

戦争法が强行されました。「戦争する国」になってしまえば、未来を担う若者たちの「いのち」や、「人生」が失われてしまいます。大切な人を絶対に戦場に送らせません。

――主な活動地域――

井野団地、井野、井野台、桑原、白山、中原町、本郷、駒場、寺田、下高井、上高井、貝塚、市之代、野々井、ゆめみ野、新取手

旧藤代地域

戸頭、米ノ井、ハーモニータウン

東、取手、台宿、青柳、小堀、井野、吉田、城根、小文間、新町、西(中央タウン)、稲

第一声 日本共産党 1月17日(日) 街頭演説会

10時～ 戸頭マスタ前
せきど 勇 市議

青柳・ヤオコー前
小池えつ子市議

11時～ 藤代公民館前
遠山ちえ子市議

取手駅東口前
加増みつ子市議

今年取手の新成人 1,012 名（男性 518 名、女性 494 名）です。18 歳の選挙権は、今夏の参議院選挙からの行使になります。

国民が政治を動かす 新しい年の幕開け

通常国会はじまる

4日、第190通常国会が開会されました（6月1日までの150日間）。開会日の国会前には、戦争法廃止をめざす総がかり行動が取りくまれ、3800人が参加。「安倍政治を終わらせる年の出発だ」との国民の思いが示された国会開会日になりました。

日本共産党、国会に臨む基本姿勢

日本共産党は「戦争法廃止の国民連合政府の実現をめざし、それを展望した大事な国会」とありとし、以下の3つの基本姿勢で国会論戦に臨みます。

- ① 戦争法・安保法廃止の論戦を大いにすすめる。戦争法廃止の2000万署名をはじめ、廃止のための国民世論を圧倒的多数のものにすることに貢献する論戦を展開する。
- ② あらゆる分野で民意を踏みつけにする安倍政権の暴走に対し、国民的対案を掲げ政治の転換をはかる論戦に力を尽くす。沖縄新基地建設、TPP、消費税大増税、国民の暮らしと経済、原発再稼働など・・・。
- ③ 野党共闘が大いに発展するようにつとめ、努力する。

安倍首相の年頭発言

国民との対話姿勢今年もなし

「外交・経済で実績をつくった」と自画自賛。昨年の戦争法強行については、まともな言及もなく、夏の参院選では憲法改正も重要な争点の1つと明言。国民との対話姿勢は今年も全く見られない独りよがりの独裁ぶりです。

全国各地での、毎月3日のサイレントスタンディング行動。お正月の3日にもかかわらず、全国各地で、そして取手市内では6か所で取り組まれました。共産党の市議団もそれぞれの地域で参加しました。



写真右、新取手「TAIRAYA」、中央「青柳ヤオコー前」、左「藤代カスミ前」他にも、戸頭、井野、新町で取り組まれました。

野党は共闘 市民連合の

日本共産党国会議員・予定候補者から新春のメッセージ
いよいよ参議院選挙です。「日本共産党の躍進で戦争法廃止の国民連合政府」の実現を「あらゆる分野で安倍政権の暴走ストップ、政策転換の願いを日本共産党に」と訴え、必ず、躍進を勝ち取る決意です。2016年を希望の年にしようではありませんか。

衆議院議員 塩川鉄也
衆議院議員 梅村さえこ
参議院議員 紙 智子
参院比例予定候補 おくだ智子
参院茨城選挙区予定候補 小林きょう子

日本共産党国会開会式に初めて出席

4日、国会開会式が天皇出席の下で開かれ、日本共産党は志位和夫委員長らが、党として初めて出席しました。

共産党はこれまで日本国憲法の主権在民の原則に逸脱する開会式のやり方の、根本的再検討を提案するとともに、その意思表示として式に欠席してきました。しかしこの30年来、開会式で天皇発言（『お言葉』）の内容に憲法上の問題がないことを踏まえ、今回からは出席するにしました。志位委員長は天皇に『玉座』を設け『お言葉を賜る』などの旧憲法下のやり方をそのまま踏襲している形式の問題点を指摘し、民主的改革を求めていく」としました。

2000万人署名



戦争法廃止2000万署名。

若い人が寄ってきて「頑張ってください!」・・・

全国『2000万署名』。取手の目標は2万筆です。6日、取手駅前の取り組みに「もうやったよ」という人何人も。若い人が4人寄ってきて「頑張ってください!」と署名してくれました。

昨年11月にスタートし今年の憲法記念日5月3日までの期間に、2000万筆集めようと、全国で29団体「シールズや安保関連法に反対する学者の会、日本共産党も参加するなど」が提起した戦争法廃止署名。総がかり取手行動実行委員会も全力で取り組みます。

3日 全国各地で・ 取手市内6ヶ所で「アベ政治を許さない」

アベ政治を許さない